

市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

人	口	54,530	人(H21.3.31現在)
面	積	91.94	km ²
標準	財政規模	14,108,002	千円
歳入	総額	21,457,600	千円
歳出	総額	20,442,331	千円
実質	収支	956,876	千円

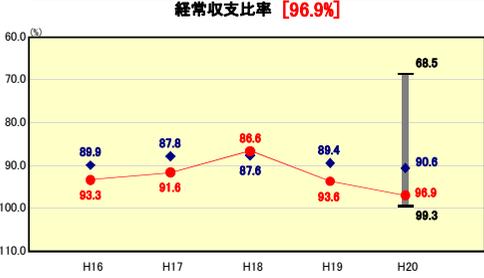
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
— 類似団体内の最大値及び最小値

財政力



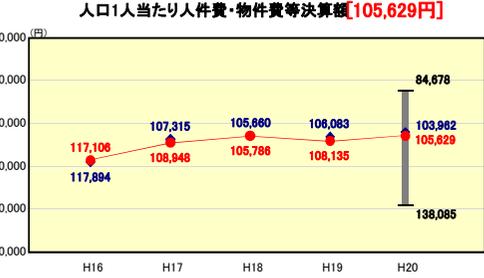
類似団体内順位 16/43
全国市町村平均 0.56
山口県市町村平均 0.80

財政構造の弾力性



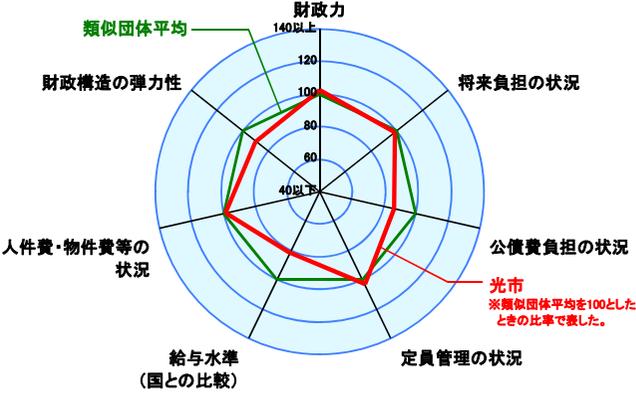
類似団体内順位 41/43
全国市町村平均 91.8
山口県市町村平均 94.3

人件費・物件費等の状況



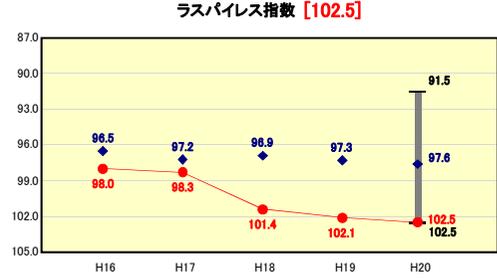
類似団体内順位 21/43
全国市町村平均 114,142
山口県市町村平均 117,364

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



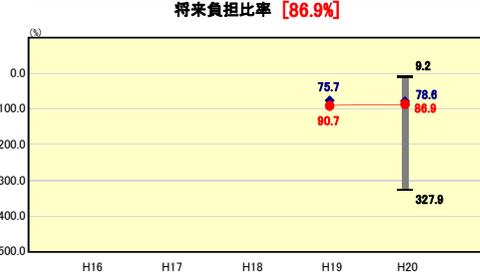
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

給与水準 (国との比較)



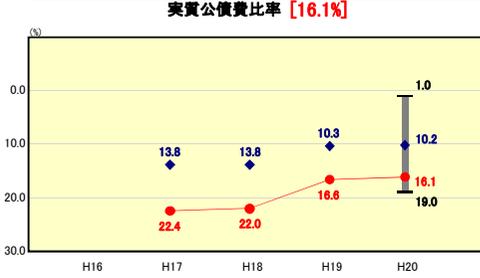
類似団体内順位 43/43
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6

将来負担の状況



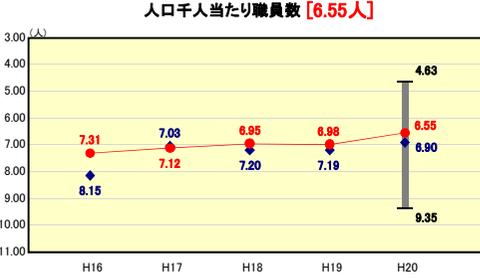
類似団体内順位 19/43
全国市町村平均 100.9
山口県市町村平均 108.3

公債費負担の状況



類似団体内順位 37/43
全国市町村平均 11.8
山口県市町村平均 13.8

定員管理の状況



類似団体内順位 14/43
全国市町村平均 7.46
山口県市町村平均 8.46

分析欄

財政力指数:
世界的な不況による影響を受け法人税等が大幅に減少したため財政力指数は単年度では減少したが3ヶ年平均では、前年度に比べ0.03ポイント上昇し、類似団体の平均を0.05ポイント上回った。今後も、財政基盤強化のため、市税等の収納率向上など自主財源の確保に努める。

経常収支比率:
地方税の減少、特に法人税の落ち込みにより歳入が減ったため、前年度に対し3.3ポイント上昇し、類似団体の平均を6.3ポイント下回ることとなった。引き続き、徹底した歳入確保などの行財政改革に取り組む。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体の平均をわずかに上回っている。今後とも、各種手当等の見直しによる人件費の縮減や、経常的経費の枠配分の実施等により内部事務経費のさらなる削減に努める。

ラスパイレズ指数:
前年度より0.4ポイント上昇し、類似団体平均・全国市平均を上回っている。今後とも、給与制度の運用や水準の適正化に努める。

将来負担比率:
前年度に比べ3.8ポイント減少したが類似団体の平均を下回っている。今年度は地方債残高が減少したことによって減少したが、今後も起債については十分検討を行い、健全な財政を運営していく。

実質公債費比率:
前年度に比べ0.5ポイント改善したが、類似団体の平均を下回っている。今後とも、市債発行の抑制などによりさらなる改善を図ることとする。

人口千人当たり職員数:
前年度に比べ0.43ポイントの減少となったが、類似団体平均を上回っている。定員適正化計画の目標である「5年間で10%(44人)の削減」については、すでに51人を削減し、現時点では達成した。今後も引き続き、効果的な職員配置や組織の合理化を進める。